1949年９月17日第三種郵便物認可　毎月10日発行　第674号（通巻1178号）　定価１部40円

創立1880年
YMCA
東京YMCA
2010 3 月号
発行所　東京キリスト教青年会　発行人　廣田光司
135-0016　東京都江東区東陽2-2-20　電話　03-3615-5562
URL http://tokyo.ymca.or.jp

東京ＹＭＣＡの使命

東京ＹＭＣＡは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづいて、青少年の精神、知性、身体の全人的成長を願い、地域社会に奉仕し、公正で平和な世界をつくるための運動を展開する。

「一輪車練習会」

「フラワーボム」

子どもと親を取り巻く環境は急速に変化し、社会では悲しいニュースが後をたちません。東京ＹＭＣＡが運営する児童館や学童クラブでは、地域にあって、より良い親子関係や生活が送れるよう支援する働きをすすめています。

＝より良い親子関係願い＝
明日を目指す東雲児童館のかたち

子育て支援の視点をもって

東雲児童館館長　佐藤　健

もう20年も前になるが、当時、東京ＹＭＣＡの各センターでは小学生のグループ活動が活発に行われていた。小集団を活動の基本単位としたもので、代表的なものは武蔵野ブランチの「おてんばシルバー」である。毎週、土曜日の午後になると、園庭の低いフェンス越しにかわいい顔がのぞく。ボランティアリーダーの招く声に応え、笑顔で、ときには困ったような表情で子どもたちは建物の中に入ってくる。

毎回の内容で決まっているのは「終わりの会」くらいで、２時間ほどの活動時間は自分たちで自由に構成する。何をして遊ぶかを決めるだけで時間が過ぎることもある。このプロセスが大切で、グループワークの理論が手に取るように分かる。

江東区の委託により、東京ＹＭＣＡが運営している東雲児童館と３つの学童クラブは、これまで私たちが研究し、実践してきたことをＹＭＣＡの会員だけでなく市民にまで広げてサービスを行うことだと考える。

＊

児童館と呼ばれるものは日本に４７００ヵ所あり、そのほとんどが市区町村などの公設館である。施設数はここ数年微増だが、運営は民間団体という公設民営型が増えている＝図参照。

「学童クラブ」や「学童保育」の名称で知られている放課後児童クラブ事業は、共働き家庭が増えていることもあって、設置箇所が10年間で倍増している。

児童館が「おてんばシルバー」のように遊びを通じて子どもの発達や社会性を育むことを目的としているのに対し、学童クラブは親への就労支援も加わるため「第二の家庭」とも呼ばれる。男女問わず多くの大人が働く時代に「学童」へのニーズの高まりは今後も続くものと思われる。

＊

わが国の児童館・学童クラブの源流はイギリス生まれのセツルメントに端を発する。児童福祉の概念がまだ芽生えたばかりのころ、「隣保館」などの名で始まった児童館は戦後60年を経て子どもの安全な居場所として地域に定着している。

一方で近年は乳幼児とその親を対象とした子育て支援のプログラムとその利用者が増加している。これは核家族化が進んでいることと、育児休業制度が浸透していることなどが背景にあると思われる。

東雲児童館では、「赤ちゃんクラス」「親子でスキンシップ体操」などを行い、平日の午前中、玄関前がベビーカーであふれることもある。

２月17日には、外国籍の方を対象とした「子育てサロン～日本で楽しい子育てをしよう」を実施し、中国・ロシア・インドネシアからの親子や、民生児童委員の方が参加された。

サロンでは、子育てで頑張っていることや日本での生活で大変なことなどが話され、国際色豊かな楽しいサロンの時間となった。『ほかの国の人と会えるチャンスがあってよかった』『またあれば参加したい』など次回の希望も多く、これをきっかけに様々な世代や国をこえた交流ができればと考えている。

＊

児童館・学童クラブでは、これまで子どもたちと向き合うことが指導員にとって第一とされてきた。これは今後も変わらないが、子育て支援の視点に立つと、親と子の間に介在し、より良い親子関係をつくることも意識していくことが求められている。

子育てに悩んでいる親御さんの中には児童館の存在や役割をよく知らないこともあり、地域の民生児童委員とも連携をはかり、いかに足を向けてもらえるかが課題だと考えている。また保健師による「子育て相談」など現在のプログラムでの予防効果も維持向上させ、今後も地域のニーズにあった児童福祉を進めたい。

公園でバードウォッチング

＜全国の児童館・放課後児童クラブ（学童クラブ）の現況＞

	2000年	2007年
児童館数	4,420館	4,700館
うち民営	1,161（26.3%）	1,649（35.1%）
クラブ数	10,994カ所	16,685カ所
登録児童数	392,893人	749,478人

厚生労働省調べ

すべての人を一つにしてください
見えない所に本物がある

◇『すべての見えるものは、見えないものにさわっている。聞こえるものは、聞こえないものにさわっている。感じられるものは、感じられないものにさわっている。おそらく、考えられるものは考えられないものにさわっているだろう』（ドイツの詩人・ノヴァーリスの詩）

◇染色家のある先生が淡いピンク色を染め出そうと桜の花びらで染色した所、緑色のどす黒い色になってしまったそうです。代わりに桜の木の皮を剥いで染めると鮮やかな桜色に染まったとのことです。あのごつごつした黒い木の皮の下には、桜の花びらの色が秘められていたのです。

◇見えないところに本当のものがあるのだと思います。３月の、桜の咲く直前がもっとも鮮やかな色が出るということです。桜の木をじっと見ていると木肌の裏側に確かにきれいな色が見えてきます。見えるものを通してそれにさわっているものを考えられる感性を持ちたいと思います。

◇今年も多くの若者がＹＭＣＡの専門学校を卒業し、社会へと巣立っていきます。幼稚園を巣立っていく子どもたちも元気です。ごつごつした皮の中に多くの可能性を秘めている若い「いのち」の将来の幸を祈ります。卒業・卒園おめでとうございます。

（総主事　廣田光司）

公　示
会員部運営委員立候補受付

会則第４章10条に基づき、会員部運営委員の立候補を下記により受け付けます。

■資　格：20歳以上の東京ＹＭＣＡ会員
■任　期：１年とし、再任を妨げない。但し、継続して３期を超えない。
■締　切：2010年３月31日まで
※所定の用紙に記入の上、会員部に提出。
■申込み・問合せ：会員部
Tel03―3615―5568／E-mail: kaiin@tokyo.ymca.or.jp

赤▽三角

昨夏、江東幼稚園で飼っていた亀が水槽から抜け出し行方不明になった。幼稚園をはじめ、近隣に「亀を探しています！」のポスターを数枚貼ったが見つからなかった。諦めていた矢先、何と幼稚園の裏側で、通りがかりの男性が発見し、亀を届けてくれた。園児たちは大喜びで、その日は水槽の置いてある事務所は笑顔の園児たちで一杯になった。▼しかし腕や尻尾、頭部や口には猫やカラスから攻撃を受けたと思われる傷跡があり、動物病院で診てもらう事にした。結果は思った以上に重症で、特に鼻部分の損傷が激しいため嗅覚が乏しくなり、「餌」の判別が困難で栄養摂取が出来ない状態と診断された。亀は一週間程入院し、点滴治療を受けたが、残念ながら死んでしまった。▼亀の死を園児たちに話すと、悲しさから泣き出す子どもが沢山いた。動物を飼うという事は楽しみや嬉しさが沢山ある。しかし動物との別れ＝「死」の時を共に過ごす事もある。皆で世話をした亀の「死」は園児たちに深い悲しみを与えた。▼「誰でも良かった…」「自分の存在に気づいて欲しかった…」そんな自分勝手な理由で簡単に人を危めたり、命を奪ったりする事件が多く発生している昨今、亀の「死」を心から悲しむ園児の姿に心が熱くなった。改めてこの幼児期に何を培わなくてならないのか、明確になった気がしている。（江東幼稚園園長　堀江和広）

We build strong kids, strong families, strong communities.　YMCAは、たくましい子どもたち、家族の強い絆、支えあう地域社会を築きます。